

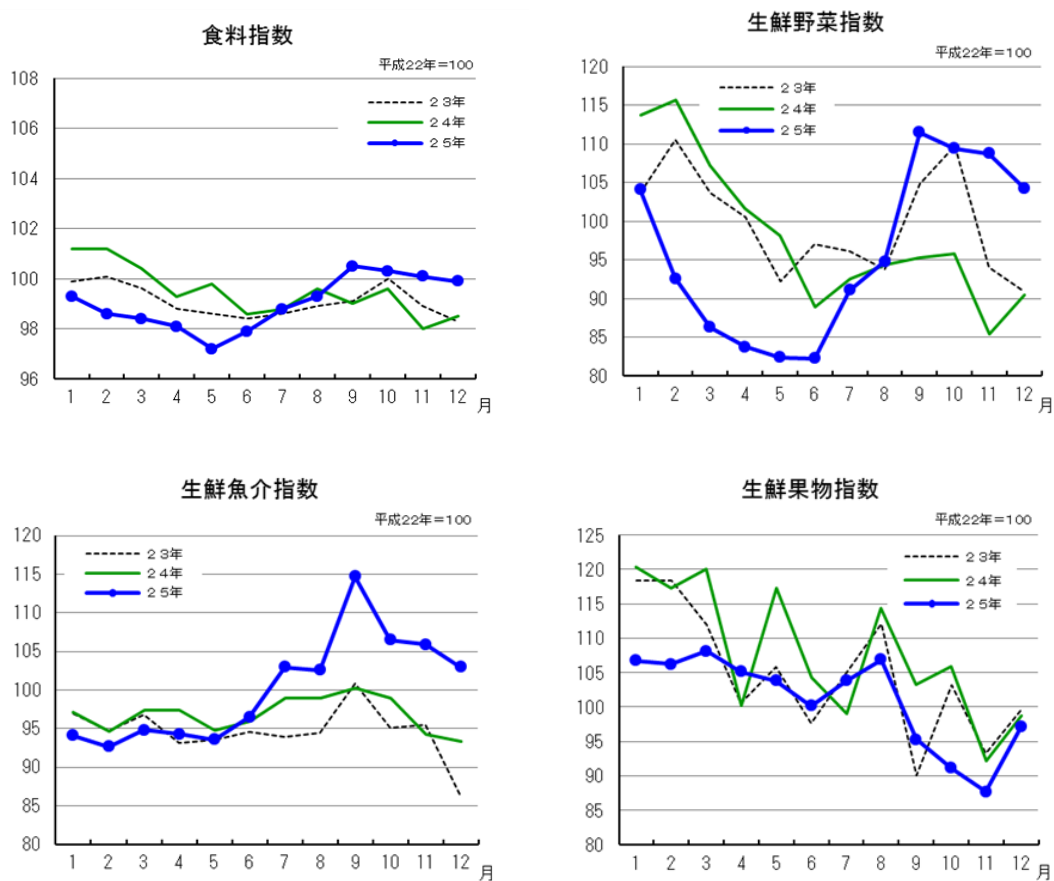
4 費目別指数の動き

(1) 食料

年平均指数は99.0となり、前年に比べ0.5%の下落となった。

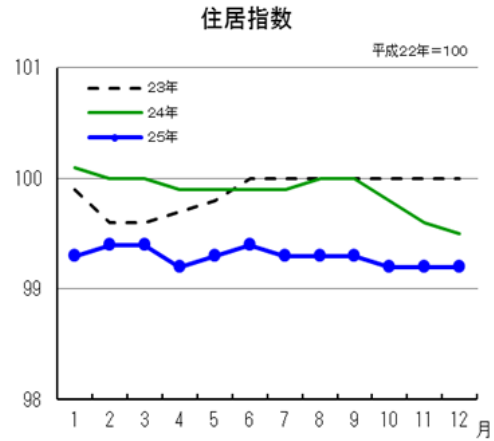
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が3.4%の上昇、生鮮野菜が2.4%の下落、生鮮果物が6.3%の下落となり、生鮮食品全体では1.6%の下落となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類及び肉類は0.3%の下落、乳卵類は1.0%の上昇、油脂・調味料は0.8%の上昇、菓子類は1.1%の下落、調理食品は0.4%の下落、飲料は0.8%の下落、酒類は1.1%の下落、外食は0.3%の下落となった。



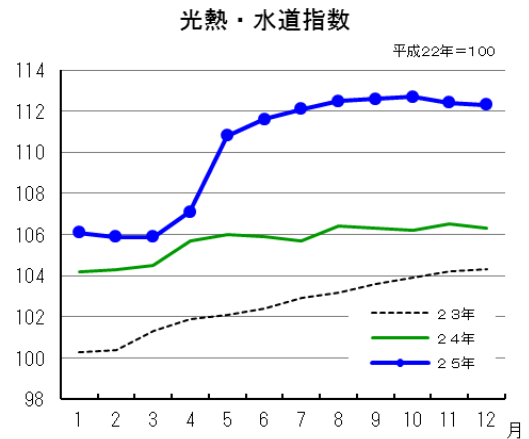
(2) 住居

年平均指数は 99.3 となり、前年に比べ 0.6% の下落となった。内訳をみると、家賃は 0.6% の下落、設備修繕・維持は 0.5% の下落となった。



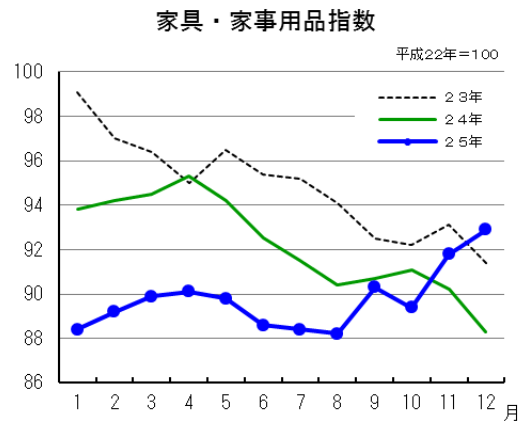
(3) 光熱・水道

年平均指数は 110.2 となり、前年に比べ 4.3% の上昇となった。内訳をみると、電気代は 6.4% の上昇、ガス代は 1.5% の上昇、他の光熱は 8.1% の上昇となった。なお、上下水道料は 2.6% の上昇となった。



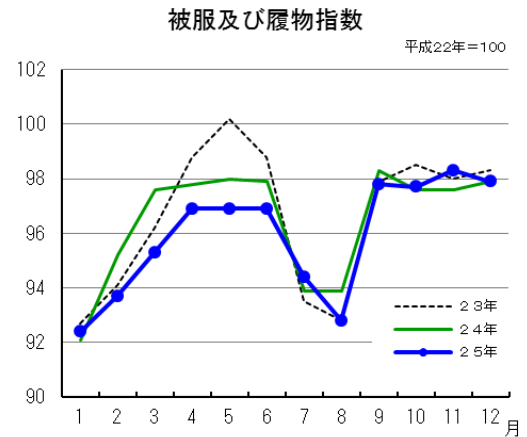
(4) 家具・家事用品

年平均指数は 89.8 となり、前年に比べ 2.7% の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は 8.4% の下落、室内装備品は 4.3% の上昇、寝具類は 3.6% の下落、家事雑貨は 0.6% の上昇、家事用消耗品は 2.3% の上昇、家事サービスは 0.5% の下落となった。



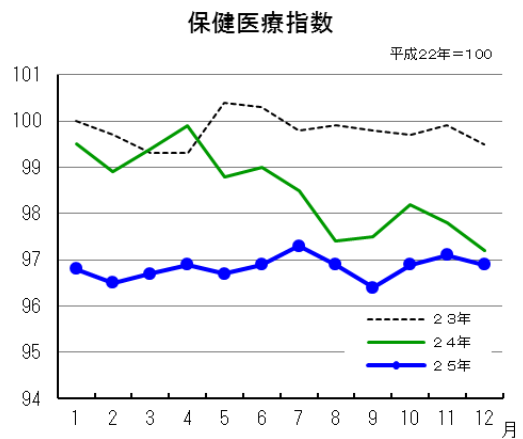
(5) 被服及び履物

年平均指数は95.9となり、前年に比べ0.6%の下落となった。内訳をみると、衣料は1.7%の下落、シャツ・セーター・下着類は0.6%の下落、履物類は0.8%の上昇、他の被服類は2.8%の上昇、被服関連サービスは前年と同水準となった。



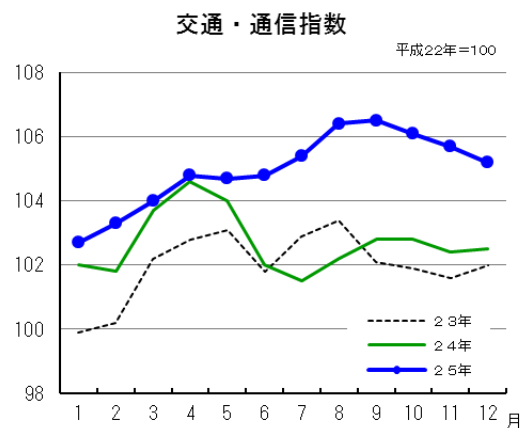
(6) 保健医療

年平均指数は96.8となり、前年に比べ1.7%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は4.7%の下落、保健医療用品・器具は0.7%の下落、保健医療サービスは前年と同水準となった。



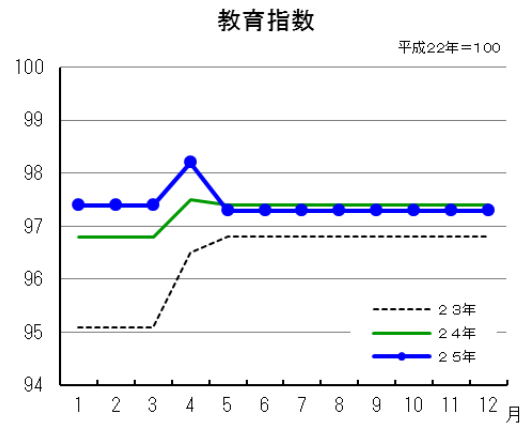
(7) 交通・通信

年平均指数は105.0となり、前年に比べ2.2%の上昇となった。内訳をみると、自動車等関係費は4.0%の上昇、通信は0.7%の下落、交通は前年と同水準となった。



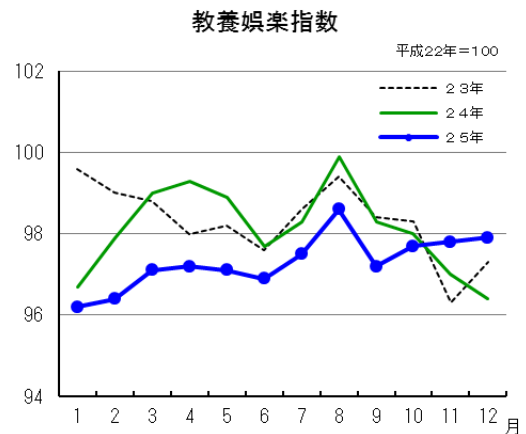
(8) 教育

年平均指数は 97.4 となり、前年に比べ 0.1% の上昇となった。内訳をみると、授業料等は 0.2% の上昇、教科書・学習参考教材は 2.5% の上昇、補習教育は 0.1% の下落となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は 97.3 となり、前年に比べ 0.8% の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は 2.4% の下落、教養娯楽用品は 0.5% の下落、書籍・他の印刷物は 0.2% の上昇、教養娯楽サービスは 0.8% の下落となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は 104.0 となり、前年に比べ 1.6% の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは 0.5% の上昇、理美容用品は 1.1% の上昇、身の回り用品は 6.5% の上昇、他の諸雑費は 1.6% の上昇、たばこは前年と同水準となった。

